



地域の実情に応じた除排雪

福野さん



財政的・物理的な理由があると思いますが、以前より排雪の回数が減っている気がします。物流は経済の中心。経済の活性化のためにも改善できると良いと思います。

市長

除排雪の方法は変えていませんが、雪たい積場の確保が難しく、場所も遠いため能率が悪くなっています。地域の除排雪作業効率化のため、公園や学校グラウンドの活用など、柔軟な対策をしています。



谷口さん



除雪車はいつも同じ方向で進むので、片側だけに雪が残ります。進行方向を毎回交互にすることで、平等に両側に雪が残り、苦情も減るのでは。

丹田さん

ごみステーション周辺は町内会が除雪をしていますが、除雪車に硬い雪を残されると大変困ります。高齢者が増えているので配慮してほしいです。



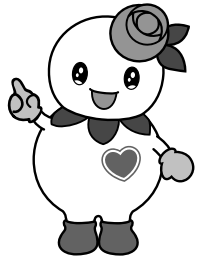
市長

決められた時間内で効率的に除雪を行うため、全ての声に応えるには限界があります。しかし、市民の意見を反映しようと、地域と除雪事業者、行政の三者が集まり実情に応じた除雪の在り方を協議する「地域と創る冬みち事業」を行っています。地域と行政が協力していくことが大切ですね。

しろいし

をより良いまちに!!

「ふらっとホーム2013 inしろいし」を開催



より住みよいまちにするために、市民と市長、市民同士が意見を交わす「ふらっとホーム」。昨年10月12日に白石会館で開催し、区民8人と上田市長が「除排雪」「ごみ」など身近なテーマについて話し合いました。今回は意見交換の一部を紹介します。皆さんも自分の住むまちについて、一緒に考えてみませんか。



【ふらっとホームに関するお問い合わせ】
市民の声を聞く課 ☎211-2045
区総務企画課広聴係 ☎861-2410

広告

